

「心豊かで活力に満ちた生徒の育成」をめざして



## 佐世保市立日野中学校

校長 橋本 隆 保  
生徒数 498名 学級数15  
所在地 佐世保市日野町2079番地

## 校 訓 愛

### 基 本 精 神

- 将来に向かっての希望や抱負を持つこと。(夢)
- 学校生活の目標となること。(ねらい)
- 生徒・教師が共に学ぶこと。(自己学習)
- 人のあるべき姿として生かすこと。(人間味)
- 自らが主体的にかかわること。(生きがい)



### 1 目 的

#### 『 生きる力をはぐくみ、生徒の夢を広げていく体験活動 』

- (1) 学校生活で身に付いた力を家庭や地域で生かせる生徒を育てる。
- (2) 自ら考え、活動を工夫し、意欲を持って学ぼうとする「生きる力」を育てるとともに、責任を持って行動する生徒を育てる。
- (3) 知的関心を高め、心豊かで、人間味あふれる生徒を育てる。

### 2 具体的な活動内容

#### (1) 部活動の活躍

部活動については、開校当時から各部の活躍が見られる。

運動部は今年度も多くの大会で優勝旗を持って帰ってきている。今年度、県中総体に出場した団体は、ソフトボール女子、ハンドボール女子、バスケットボール男・女、卓球男子、軟式野球、サッカーの7競技だった。個人競技ではテニス、水泳、陸上、柔道、卓球、新体操で7名が県大会に出場した。また、ソフトボール女子・ハンドボール女子・軟式野球とテニス個人は九州大会にも駒を進める大活躍だった。

また、運動部だけでなく文化部の活躍も忘れてはならない。吹奏楽部は、県吹奏楽コンクール県北地区予選では銀賞に輝いた。公民館祭りなど地域での活動にも積極的に参加している。美術部は夏休みも毎日意欲的に活動し、立派な作品を制作している。子ども県展や西日本読書感想画コンクール等で多くの入賞者を出している。

部活の好成績は、学校の雰囲気盛り上げ、活性化させてくれる。学校の明るい雰囲気は部活動の頑張りによるところが大きい。

また、生徒指導については学級担任が中心となって行うが、部活動における指導も影響が大きい。あいさつ、礼儀、人間関係、集中力、根気、自信などなど、部活動を通して生徒たちが、人として学ぶことは多い。



## (2) 弁当の日

毎年、年に1回「弁当の日」を設定している。これは、パンの注文が多い傾向にあること、また、弁当でも、内容が野菜不足だったり冷凍食品が多かったりという実態があることを受け、弁当についても一度考え直すという日にしている。今年度は「自分で作るおにぎり弁当」というテーマのもと12月13日(木)に実施した。生徒が自分で弁当を作ることにより、家族との会話が増え、いつも作ってもらっていることに対する感謝の気持ちが生まれるのではないかと考えた。実施後の生徒の感想には次のようなものがあつた。

「私は5時30分に起きて、おにぎりとお焼餅を作ったけど、お母さんは5時くらいに起きて、いつも3人分の弁当を作っているのはすごいなあと思いました。お母さんみたいに上手にお弁当を作ってみたいです。今度はお母さんより早く起きて、お母さんや家族にお弁当を作ってあげたいです。」



## (3) 「親父の会」(影夢者)による校内美化活動

「親父の会」の活動として、6月24日(日)に、廊下の窓拭きを中心に活動した。特に、本校校舎の顔でもあるガラス張りの明るい正面玄関であるが、手の届かない高所には、ほこりも目立っていた。当日は、保護者・職員・生徒・地域の方、さらに今年は、県立大学の学生ボランティアグループにも協力を得て、総勢130名の参加者があつた。2台の高圧洗浄機を使って、窓ガラスや壁面の汚れを洗い流した。みんな水浸しになりながらも楽しい作業で、がんばった結果、

見違えるように美しくなった。月曜日に登校してきた生徒達は、ひとときわ明るくなった玄関にびっくりすると同時に、保護者や地域の方への感謝の気持ちを抱いていた。



## (4) 青少年劇場の鑑賞 演劇「知覧・青春～アイ・アム・ヒア!～」

6月29日(金)平和学習の一環として、観劇を行った。この演劇を通して、戦争が庶民の生活をどのように変え、ひとりひとりの人生をどんなに狂わせてしまうものなのか、生徒たちは深く考えることができた。

「毎年、平和学習をしてきた中で、私たちはどんなことがあつたのか、どうなつたのかということを読んできました。でも、どんな気持ちで戦争に行ったのか、待っていたのかはわかりませんでした。今回の演劇で知ることができたと思います。戦争の時代に生きていない私でも戦争の時代に生きた人々がどれだけさみしくて、つらくて大好きな人と一緒にいられなくて悲しくてたまらなかつたか……戦争が人を引き離すことなんだなと思いました。長崎の人間として、日本人として、忘れないようにします。楽しくて感動的な演劇ありがとうございました。」(生徒感想)



## (5) 地域とのふれあいを深める地域行事への参加

○「相浦地区公民館まつり」でのコンサート

○「相浦地区安全パレード」への参加

11月17日(土)に吹奏楽部が、「相浦地区公民館まつり」に参加した。日頃お世話になっている地域の方々へ、音楽を通して感謝の意を表すために取り組ませている。

また、12月1日(土)に行われた「相浦地区安全パレード」にも吹奏楽部は参加し、今年は各種団体のプラカードを持って行進した。



## (6) 朝読書の実践と図書ボランティアによる「読み聞かせ」活動



月曜から金曜までの毎朝8時30分から15分間、読書の時間を設定し読書活動に取り組んでいる。落ち着いた雰囲気の中で読書することは、生徒の心を落ち着かせ1日の始まりとしても意義深いものがある。朝読書により、読書の楽しさを知り、朝読書が始まる前や、昼休みに図書室で読書をする生徒が増えた。また、ワークスペースにも、簡単な学年文庫を設け、読書啓発に努めている。

また、図書ボランティアの皆さんによる「読み聞かせ」活

動も活発に行われている。生徒たちは「読み聞かせ」の時間は大好きである。大きな体の3年生も、絵本を食い入るように見つめながら、毎回おはなしの世界にどっぷりと浸っている。



## (7) 各種検定への取組

○ 毎日パソコン入力コンクール、英語検定、漢字検定への挑戦

基礎学力向上の一環として、全校生徒に検定試験挑戦を奨励し、多くの生徒が挑戦している。全校集会の際、それぞれ検定証を渡し、その努力した姿勢を評価することで、学習意欲を高め、学力向上につながりつつある。

また、本校の特色ある取組として、キーボード入力の速さと正確さを競う「毎日パソコン入力コンクール」(毎日新聞社・日本パソコン能力検定委員会主催、総務省・文部科学省・厚生労働省・経済産業省など後援)にも全校生徒が挑戦した。技術・家庭科の基礎学習として授業の開始5分間、また、昼休みなどを利用して、練習に取り組んだ。6月と10月(秋季大会)に実施される大会に参加し、参加した生徒の総合点で日本一となることができた。その結果、今年度は、<最優秀学校賞・優秀中学校賞>を受賞することとなった。



## (8) はつらつ「あいさつ運動」

朝、生活部が行う正面玄関での「あいさつ運動」から1日が始まる。はつらつとしたあいさつは、生徒や教師の好ましい人間関係づくりだけでなく、学校全体の明るい環境づくりにも大いに役立っている。また、これまでも保護者や地域の方による自主的なあいさつ運動は毎日行われていたが、それに加えて、昨年度よりPTAにも働きかけ、保護者によるあいさつ運動が学級を中心に行われた。生徒たちは、朝のあいさつ運動を通して、たくさんの地域や親たちに見守られていることを実感することができた。

## (9) 総合的な学習の時間(学年での取組)

第1学年 <「地域を知ろう」をテーマにした調べ学習>

11月26日に、佐世保市教育委員会主催の「ふるさと歴史発見事業」を活用した地域学習を行った。この体験学習では、生徒が今まで知らなかった佐世保市の歴史や遺跡等を見学する中で、新

たな佐世保を発見し、先人の生活や文化を実感することができた。生徒も興味深く学習に取り組んだ。教科で学習した方法を活用してレポート作成を行い、学んだことを分かりやすくまとめる力を定着させるうえでも役立つ実践であった。



## 第2学年 <職場体験学習>

働くことの意味や職業に対する知識を深める1年生時の学習をもとに、まず、各自が希望する職場を選択し、事業所と事前打ち合わせを行った。そして、いよいよ10月31日～11月2日に職場体験学習を行った。この3日間は、働くことの基本姿勢や厳しき・喜びなどを学び、得たものは大きく、将来の夢や希望の実現に向かって進路選択を身近に考える生徒も多くなった。体験学習後は、レポートにまとめ、成果を振り返ることで、職業意識を高めさせることに努めた。



### (10) 「心のスイッチ」の活用

翌日の授業の準備や、日々の気づきなどを記入する本校独自のノート「心のスイッチ」を全校生徒が活用している。生徒が帰りの学活に記入する際は、校内放送とともに音楽を流して習慣化を図り、生徒の学習意欲を高めることに役立っている。

### (11) 2学期制の学校カレンダー作成

本校の行事予定や、生徒の活動の様子を写真印刷した学校カレンダーを作成し、保護者や地域に配布している。このことにより、保護者や地域の方が本校の行事に参加するのに、予定が立てやすくなり、学校の教育活動に理解を深めてもらうのに、たいへん役立っている。

